保　存　版

情報漏洩 予防・対策ガイド

―組織で取り組む情報セキュリティ対策の方法―

監査法人トーマツ　トーマツ企業リスク研究所

■ハードウェアだけでは情報漏洩を阻止できない

企業の抱える個人情報や内部資料が外部に流出することへの危機感は，各社とも経営レベルでは相当に高い。コトは情報流出の実害では収まらず，お詫びその他の緊急対策に想定外のコストが掛かり，さらにはブランド失墜による顧客離れという最悪の事態が，容易に想像できるからであろう。今や予防・対策は待ったなしである。

しかし，最新鋭のハード機器を揃え，セキュリティレベルを最高度に上げれば済むという問題でもなさそうだ。仕事が進まなくなるほど業務効率を犠牲にしては意味がないし，どんなにハード機器を揃えても，アクセス権限のある者が持ち出してしまえばそれまでである。実際，事件の多くは外部からの窃取ではなく，内部からの持ち出しによるものとされる。ここで性善説，性悪説を論じても答えは出ない。予防・対策ではコンプライアンスを徹底させるのが１つ。さらには，牽制の仕組みを築くのが有効であろう。情報を持ち出せば足跡が残るという担保があれば，安易な出来心にも歯止めが掛かるはずだ。リスク対策専門機関のアドバイスに耳を傾けたい。　（編集部）

構成

■監査法人トーマツ　トーマツ企業リスク研究所
企業リスクの有効なコントロールが注目される中，激変する経営環境に伴って変化する企業リスクとその管理について研究する専門部署として2002年10月より監査法人トーマツ内に設置された。コーポレート・ガバナンス，リスク・マネジメント，コンプライアンス，内部監査およびシステム監査を研究対象とし，研究成果に基づいたセミナーの開催，Webサイトによる情報提供，運営機関誌の発行などを行っている。

●連絡先：〒100-0005　東京都千代田区丸の内３丁目３-１ 新東京ビル
●TEL：03-6213-1113　FAX：03-6213-1118　●URL： http://www.er.tohmatsu.co.jp